

民進党 「体は細いが、芯は太い。」

# 清水ひろし



荒川区議会議員

からの手紙

第 64 号

平成 29 年 11 月

9/12 から始まった荒川区議会 9 月会議は、10/13 に閉会しました。初日の本会議では、団塊ジュニア世代や、多重介護に対する区の認識について質問を致しました。また、決算委員会では宅配ボックスの設置について取り上げました。これからも引き続き区議会議員として活動に精進して参ります。

今日の数字？

51 回

## 団塊ジュニア世代、多重介護に対する区の認識を問う —本会議質問—



**質問** 荒川区では、団塊ジュニア世代が最も年齢別構成比率が高い。この世代は就職氷河期に当たった世代であり、非正規雇用も増えている。社会の支え手であるこの世代を応援することが、結果として高齢者・子ども、どの世代もが受益者となることに繋がる。また、この世代が 65 歳以上となる 2040 年代に高齢者数がピークを迎え、「2042 年問題」と言われている。

こういった状況認識をもって施策に取り組むことが必要ではないか？

**答弁** この世代を活性化することが、経済底上げや高齢者世代の下支えになる。行政との接点が少ないこの世代が抱える課題を把握し、支援の充実を目指していく。

**質問** 1 人で複数の家族を介護する「多重介護」は厳しい状況であり、介護離職にもつながる。年間 10 万人以上いる介護離職は社会全体の問題である。介護する支え手を支援することが、結果として介護を受ける側にとっても質の高いサービスになると考える。

介護の問題は、高齢者の増加だけでなく、介護する側の家族状況も制度発足時から変わったことを認識していくことが大事ではないか？

**答弁** 多重介護者は今後増加すると推察される。また、要介護者が区外に住んでいる際は一層の配慮が必要となる。要介護者はもとより、介護者を支えるための福祉サービスの充実を検討していく。



清水啓史 (42 歳 昭和 50(1975)年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員  
平成 19 (2007) 年 荒川区議選初出馬初当選。現在、荒川区議会議員 3 期目。

荒川区議会では総務企画委員会、観光・文化推進調査特別委員会に所属。  
家族は妻と娘 (8 歳・平成 20 (2008) 年 12 月生)。



〒116-0013 荒川区西日暮里 2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail info@shimizuhiroshi.com

## 宅配ボックスの設置について質疑 —決算委員会—

**質問** ライフスタイルも多様化し、ネット販売も増加している。社会問題となっている宅配業者で働く人の労働環境、宅配物を受取る側の利便性も含め、宅配ボックスの公共施設設置や個人宅設置助成などを検討すべきではないか？

**答弁** 区としても考えていかなければいけないと問題意識を持っている。管理などの課題も含め検討を始めていく。

\* 民間の不動産情報サービスの調査によると、戸建持家に住む71%が宅配ボックスを欲しいと思っているが、実際設置しているのは4%にとどまっている。(8/23 読売新聞)



## 区政情報

**保育園 入園申込受付は11/24(金)～12/5(火) 今年から郵送受付も開始**

保育園来年4月入園の申込が始まります。今年から混雑緩和のため郵送による申込も受け付けます。

○申込期間：11月24日(金)～12月5日(火) 8時30分～19時

○申込方法：窓口→区役所2階 保育課

郵送→〒116-8501(住所不要) 12/5(火) 消印有効

問合せ：保育課(区役所代表電話 3802-3111 内線3825)



## 転倒防止の手すり設置、9割を補助へ

自宅の玄関やトイレ、浴室等、転倒リスクのある場所への手すり設置に対する補助制度が始まります。

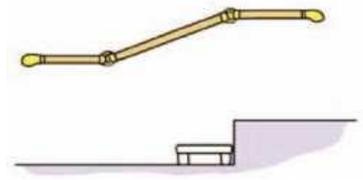
○対象者：70歳以上(介護認定は不要)

○補助額：上限5万円のうち、9割(上限4万5千円)を区が補助

\*一定所得のある方は8割補助になります。

○開始時期：12月1日

問合せ：介護保険課介護給付係(区役所代表電話 3802-3111 内線2431)



## ダブルケア講演会のご案内

これまで議会でも取り上げてきた、介護と子育てを同時に行う「ダブルケア」の講演会が荒川区主催で開催されます。

○日時：11月19日(日) 13時30分～15時30分

○場所：ゆいの森あらかわ(荒川2-50-1)

○費用：無料

問合せ：高齢者福祉課(区役所代表電話 3802-3111 内線2666)

講師：永田久美子

認知症介護研究・研修東京センター部長

著書：「認知症の人たちの小さくて大きなひと言」

**今日の数字？ 51回：戦後の衆参国政選挙実施数。先月の総選挙で51回目。アメリカ、フランスより多く、イギリス、ドイツと比較すると倍以上の回数。早大の日野教授は「選挙が多すぎる」と述べ、「選挙を意識すると痛みのある改革に動けず、改革を先送りを誘発しやすい構造だ」と指摘している。なお、衆議院任期満了による選挙は1回のみ。**